

会議・打合せ等記録

市長	副市長	部長	次長	課長等	補佐	係長等	担当

報告日：令和2年11月6日

名称	令和2年度第2回鹿沼市環境審議会		
日時	令和2年10月29日（木） 午後2時00分～3時15分		
場所	特別会議室		
出席者	別紙のとおり		
内容及び 結果等	1 開会（司会：小太刀係長）		
	2 会長あいさつ（鈴木会長）		
	3 諮問（佐藤市長）		
	4 議題（進行）：鈴木会長		
	（1）報告事項		
	ア 第5次鹿沼市環境基本計画等策定におけるアンケート結果について		
	イ 『ふるさとかぬまの生きもの図鑑』の刊行について		
	ウ 地域再生計画『鹿沼市「清流のふるさと」再生計画』の事後評価について		
	（2）その他		
配布資料	別紙のとおり		
次回予定	R2.2.16 第3回環境審議会		
記録者	羽石		
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)			
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	・ 非公開	(公開の場合) 傍聴人数 1人

令和2年度第2回鹿沼市環境審議会会議記録

委員氏名	鈴木	廣田	大出	松島	森	小島	福田(義)	佐藤	早乙女	小野	安田	橋本	福田(和)	福田(七)	渡邊
出欠	○	○	○	○	○	○	○	○	代	○	欠	○	○	○	○

【事務局】

- 事務局……黒川部長、高村課長、小太刀係長、山本主査、羽石主任主事、水野主事
- 環境課……鳩山係長
- 廃棄物対策課……麦倉課長
- 下水道課……松本課長、川田係長
- 下水道施設課……湯沢課長、濱崎主査

1 開 会

2 会長挨拶

ここ数日、全国の各地で野生のクマによる被害がニュース等で報告されている。今年4月から9月までの期間において、クマの出没数が過去5年で最多となっているとのこと。野生のクマが人里まで下りてくる理由としては、気候変動等による影響で、クマの餌であるドングリの実りが少なかったことや、人口減少や担い手不足等による里山の荒廃が進んだことだと考えられている。いずれにしても、自然環境の変化は、私たち人間だけでなく野生動物へも強い影響を及ぼすものであり、自然との共生について改めて考えなくてはならないと感じたところである。

そんな中、本審議会でも取り上げてきた『ふるさとかぬまの生きもの図鑑』が遂に完成したようだ。大変素晴らしいもので、この本を片手に野外に出てもらい、自然について考えてみるきっかけになり、自然環境の保全についての強みになればと期待している。

環境をさらに良くしていけるよう、円滑な議事の進行と慎重な審議への協力をお願いしたい。

3 諮 問

佐藤市長：《諮問書を読み上げ、第5次鹿沼市環境基本計画等の策定について諮問を行った。》

本市の美しい自然環境を未来に継承し、持続可能な社会の実現に向けた第5次となる環境基本計画等の策定についてよろしくをお願いしたい。

3 議 事

(1) 報告事項

ア 第5次鹿沼市環境基本計画等策定におけるアンケート結果について（中間報告）

事務局：《羽石主任主事が資料1により説明。》

小島委員：問5の環境への満足度の項目にある「緑の豊かさ」について、緑というと非常に大きな括りであり、森林や田園などを連想するが、具体的にはどんなイメージを指しているか。

事務局：回答者のイメージを限定しないよう、括りを大きくしている。回答者それぞれが思い浮かべる「緑」について、回答していただいた。アンケート項目の細分化については、今回の結果を踏まえ検討していく。

森委員：興味深いデータであり、これをどう施策に結び付けていくかが重要。市外の事例も参考にしながら、鹿沼市ならではの事業を展開してほしい。アンケート結果から、意識啓発が重要とあるが、進め方について市内外問わず色々な方の意見を取り入れながら、一ひねり・一工夫あると良い。例えば、地域活性化の事業と組み合わせて、その結果が環境保全につながるなどの相乗効果が見込める内容が良い。

事務局：次期環境基本計画では、色々な視点やご意見を取り入れながら、事業の結果が環境保全に繋がるといった施策を盛り込んでいきたい。

大出委員：問5の環境への満足度の項目にある「土の状態（土壌汚染がない）」については、近所でも土砂採取や埋立てがあり、難しい問題であると感じている。

事務局：関係部局等と連携しながら、次期計画の中で適当な施策を検討したい。条例との関連性や民事の取引の場合もあるため、ケースバイケースで最適な対応をしていきたい。

鈴木会長：その他質問等あるか？報告のとおり了解するということで良いか？

一 同：《異議なし。》

イ 『ふるさとかぬまの生きもの図鑑』の刊行について

事務局：かねてより内容についてのご意見や名称決定等ご協力いただいた図鑑が完成した。紙版は一般販売を行っており、今年いっぱい予約を受け付け、来年1月以降順次配布していく。周囲へのPRとあわせ、購入について検討してほしい。

渡邊委員：編集を担当した鹿沼自然観察会を代表してお礼申し上げる。先日、発刊記念事業として観察会を実施した。100名を超える参加者の中、図鑑を存分に活用した内容で実施できた。鹿沼市内で見られるものだけを載せたことで、「使える図鑑」になったと思う。皆様のアドバイスのおかげで良い図鑑となった。ありがとうございました。

松島委員：公共施設にも配置されるのか。

事務局：図書館やコミセンをはじめ、子どもたちが集まる施設を中心に配置していく。

大出委員：耕作放棄地が増えるなど、環境が変わると生態系も変わるのか。

渡邊委員：大いに変わる。生活環境が変われば生態系も変わる。

大出委員：変容した場合、数年後には改訂版ができることも考えられるか。

事務局：今ある種を絶やさないう、図鑑を活用しながら生物多様性の保全をさらに進めていきたい。

鈴木会長：その他質問等あるか？報告のとおり了解するということで良いか？

一 同：《異議なし。》

ウ 地域再生計画『鹿沼市「清流のふるさと」再生計画』の事後評価について

事務局：《濱崎主査が資料2により説明。》《羽石主任主事が事前質問への回答。》

大出委員：公共下水道区域内水洗化率の最終目標値が達成できなかった理由はなぜか。

事務局：下水道未接続世帯が高齢化しており、接続費用の負担等により至らなかったためと考えられる。戸別訪問等により引き続き啓発を図っていきたい。

大出委員：補助制度の拡充なども含め、将来的に水洗化を促すような取組を進めるべき。下水道繋げても下水道使用料がかかる。負担増とならない仕組みも必要。

事務局：汲み取り手数料、浄化槽設置費用、下水道使用料など、選択肢は様々だがいかなる方法でも費用はかかる。市としては、きれいな水を守り保っていくという意味でも、下水道への接続を引き続き促していきたい。

渡邊委員：水質の保全という意味で、農薬の影響は非常に大きい。県でも問題意識を持っている様子。次期環境基本計画では、言及したほうが良いと思う。

事務局：関連部局と調整しながら、組み入れていきたい。ただ、盛り込む程度については、しっかりと調整し、他市の状況等もふまえながら進めていきたい。

鈴木会長：その他質問等あるか？報告のとおり了解するということで良いか？

一 同：《異議なし。》

(2) その他

森委員：本審議会の議論は、これまで知り得なかった情報を知ることができる。市全体で環境保全を進めていくため、市民だけでなく企業に対しても積極的に情報を提供していくと良い。

事務局：情報提供に関しては、アンケート結果からもわかるように非常に需要のある分野であると捉えている。クールチョイス事業など、事業者と連携しながら行動喚起に結び付けていきたい。

廣田委員：以前、環境活動推進会議で環境講演会を実施していたが、役割を果たしたということで終了となった。復活してほしいという声もある。

事務局：受講者が年々減ってきている状況を鑑み、終了となった。それに代わる施策を検討していくが、大々的なイベントを実施するよりかは、小さいイベントに度々参加し啓発を図っていく方法が、環境に興味関心のない人へも啓発ができ、効果的で望ましいと考えている。

松島委員：日常生活ではなかなか知り得ない情報や理解しづらい内容について、本審議会の中で情報共有及び提供をしていただければ、一般の方への情報の浸透も図れると思う。

事務局：市・県・国の動向などの情報は随時提供することができる。ただ、細かい数値やデータ等の提供までは難しい。

鈴木会長：あるテーマや疑問について、委員同士の情報交換の場として本審議会内で話し合うことは有益だと思う。各委員の環境に対する資質の向上になれば、より深い審議が進められる。取り上げてほしい、聞きたい内容について事前に事務局に相談していただければ。

事務局：議題内容に関連していなくても、取り上げてほしい、あるいは話し合いたい内容について事前質問の用紙に記入し提出していただければ対応する。

鈴木会長：その他何かあるか？

一 同：なし。

4 閉 会